☆市政の目標☆
1．憲法と市民憲章を行政の中に生かして人間優先の施策を進める
2．改善と創造に徹して、躍動する施策を進める
3．的確な展望に基づいて、未来につながる施策を進める
4．自治の認識を深めて、市民参加の施策を進める

第168号
53年9月

広報やわた

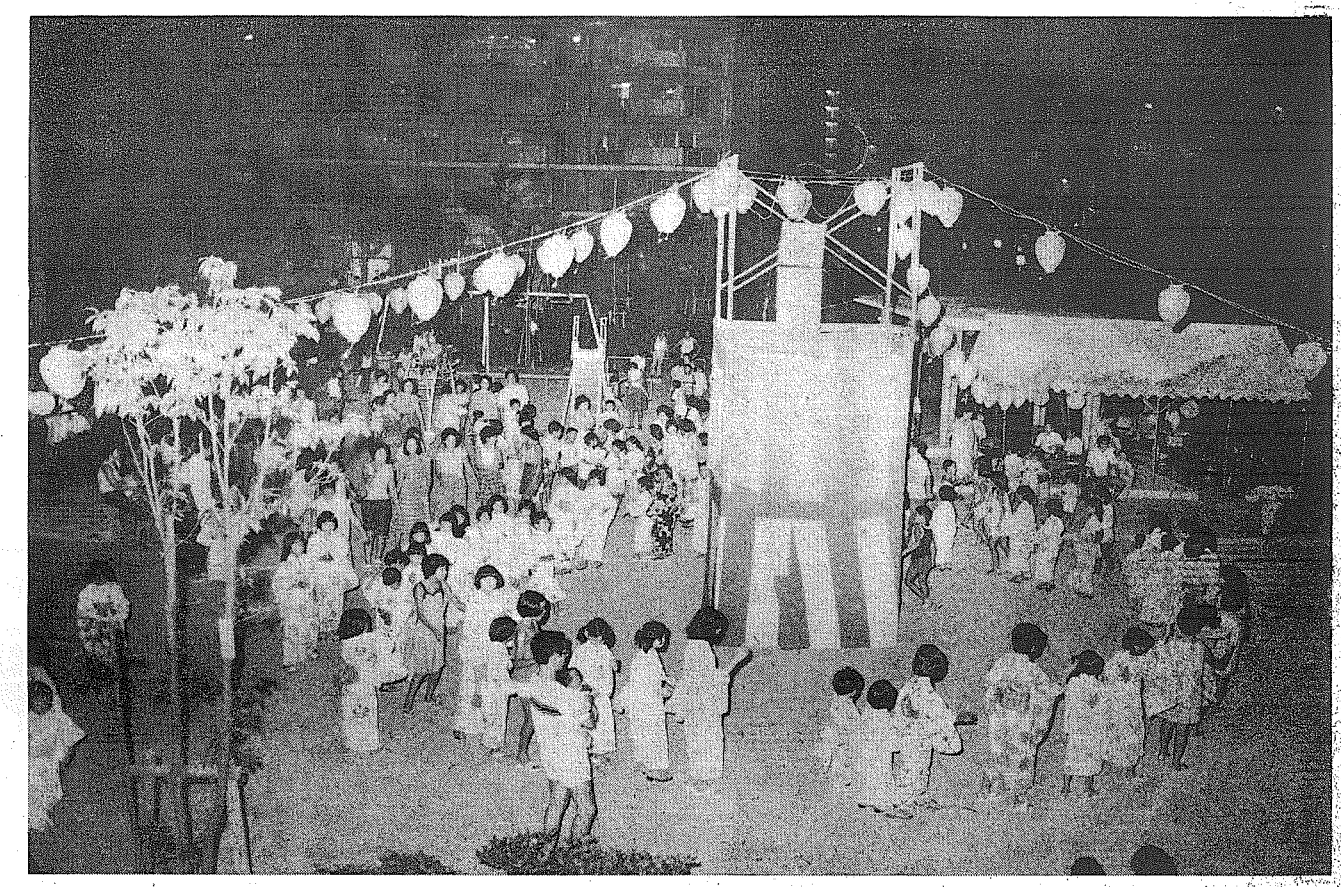
発行 八幡市役所
八幡市八幡園内75
TEL (075) 983—1111
編集 市長部広報課

市の現勢（53年8月末）
人口 60,401人
（男 30,281人 女 30,120人）
世帯 17,801世帯
面積 23.51 km²

盆踊り―その発祥は古く、室町時代の頃から始められ、今日に受け継がれている。やぐらやちょうちん、軽やかな音頭など、おとなには幼い頃の懐古があり、こどもには広がる夢がある。

"心の触れ合うまち"を求めて、8月5日には第1回の市民まつりが開かれたが、市内の各地域でも、自主的に企画された夏まつりの楽しいつどいが、年々に広がりと厚みを増しつつある。

（写真は男山地区内での盆踊り風景）



市長の日記 ⑳

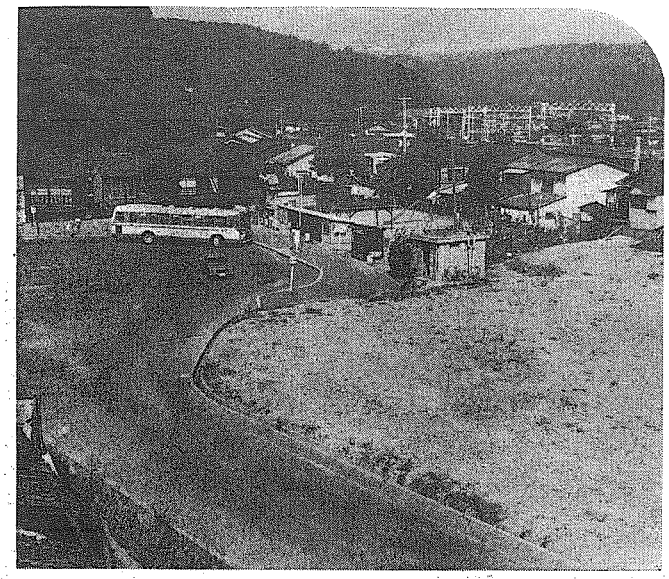
その日は土曜日でした。三役打合せの会議中、第二助役が席を離れていたが、席につくと同時に「ちょっと緊急の事態で水道部長が連絡にきたので、暫時中止して水道部長の話を聞いて欲しい。」と言うので、直ちに協議を中止して水道部長の説明に耳を傾けた。午後四時頃だったろうか、水道部長の話の内容は「八月二十九日に発見された府営山城水道の鉄線送水管が、木津川大橋を本市側へ渡った所から最水計まで、の間での漏水事故で、今までのところ漏水も微量であり、近く本格的な改良工事をふまえて水故対策の工事をする予定と府営山城水道浄水場から聞かされていたが、本日になって色に漏水がひどくなって、水が大きくなってきたので、応急対策を含めて、直ちに協議を申出て水道部長が連絡にきた。漏

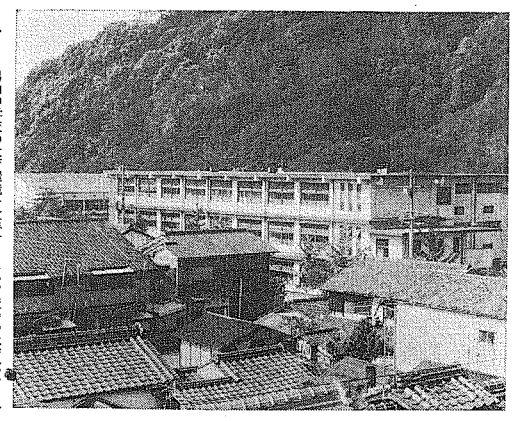
暮らしの施設を整備する

市民生活の向上をはかる

52年度事業を見る

昭和五十二年度は、地方財政が深刻さを増すなかで、市制を施行し、新しい未来に向かって第一歩を踏み出した記念すべき年でした。市民生活の向上をはかり、住みよいまちをつくるための多くの事業が行われましたが、ここには、先に紹介した市役所の庁舎を除き、52年度で実施した事業の主なもの、写真で特集しました。



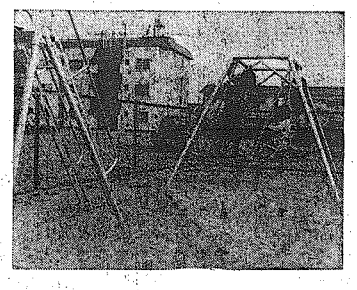


男山中学校を改修

男山中学校の教育環境を改善するため、校舎や体育館の内外部を塗装し、教室の黒板の取り替え、便所の改修、火災報知設備の補修などを行いました。

児童遊園を増設

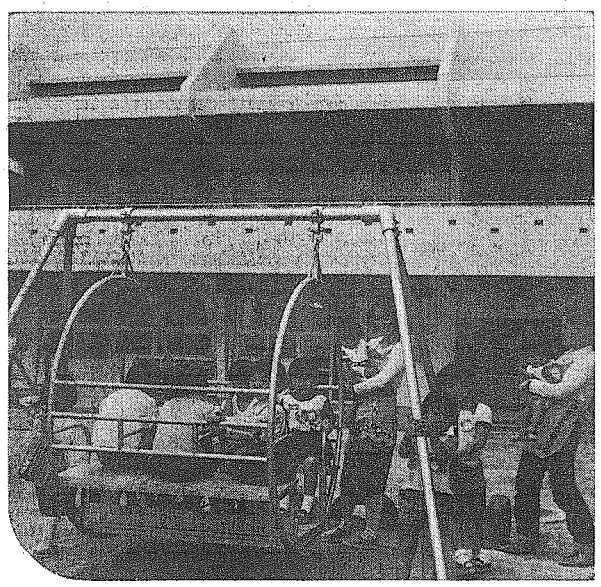
児童の安全な遊び場として、垣内山地区に児童遊園を設けました。スベリ台や砂場などを設置しています。



こどもを大切に育てる

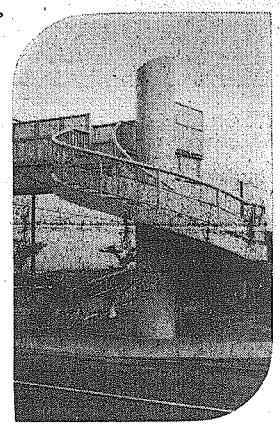
保育園2園を建設

市北部と男山地区北部の人口急増に伴う児童数の増加に備え、吉野垣内にくすのき保育園(写真)(定員120名)、また男山笹谷にわかたけ保育園(定員150名)を建設しました。



八幡市駅前広場整備に着手

懸案であった市の表玄関―八幡市駅前広場の整備が、京都府の事業として着手されました。五十二年度では、先行取得していた用地の一部買上げが行われ、今後継続事業として整備が進められることになります。



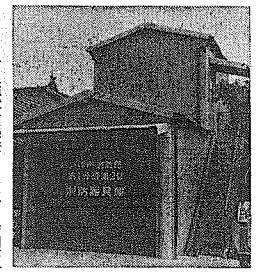
八幡三小横に歩道橋を設置

学童の登下校時の安全を図るため、八幡第三小学校横の男山一号線に、ラセン階段式横断歩道橋を設けました。

消防タンク車を配備

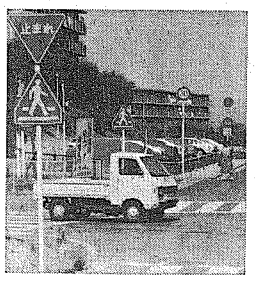
水槽付消防ポンプ自動車を配備しました。2000ℓの水を積み、火災現場でそのまま放水でき、初期消火や水利の不便な地域での消火活動に威力を発揮します。

防災を強力にすすめる



消防器具庫を改築

防火施設を充実するため、消防団第一分団第二部(二区)の消防器具庫を改築しました。そのほか、防火水槽二基、消火栓四基、消火栓器具箱などを設けました。



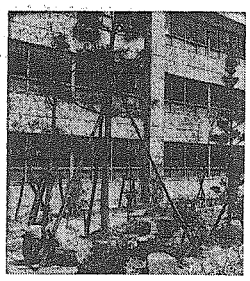
交通安全施設を充実

男山地区内の駐車禁止・速度制限・信号機・横断歩道などの標識を整備したほか、市内の必要箇所に防護柵や反射鏡を増備しました。

ゴミ収集車を増備

人口の増加に対応してゴミ収集を進めるため、四トン車と二トン車をそれぞれ二台増備しました。

きれいなまちをめざす



市内の緑化を推進

緑のまちづくりを推進するため、道路沿いに街路樹を植えたり、学校の校庭に植樹をしました。(写真―八幡第三小学校)

おめでとうございます

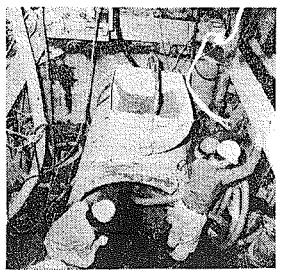
出生

昭和53年6月―7月届出分

区	本人	両親
一区	屋宮温真美	清
二区	澤山雅太郎	純治
二区	大谷有子	雅二
一区	尾崎繁子	俊文
一区	高嶋鉄	和夫
三区	藤原孝子	茂
三区	井村聡	直喜
一区	下村真史	昌弘
一区	代田薫	忠義
一区	前覚怜香	千和
一区	井村太	忠
一区	坂上窯樹	秀樹
三区	神戸寿一	英次
一区	寛末鶴司	秀司
一区	大島健太	弘久
四区	島原義穂	正義
一区	杉山博子	正康
一区	水谷朋	稔
一区	水野友紀	豊
一区	神戸利親	清貴
六区	田畑隆	正展
二区	近藤善治	四一
二区	大丸谷稔一	和華
一区	若松清美	泰実
一区	西岡真澄	博敏
一区	小川昌子	庆八
一区	中田正子	久雄
四区	川端速二	和也
一区	桑野真峰	命作
一区	沖田直子	泰雄
四区	清水潤恵	隆三
一区	宮崎聖枝	幸三
一区	桑田淳子	和彦
一区	前田敏	敏治
二区	片岡美穂	光政
一区	渡辺淳	四夫
一区	多田真理子	凱夫
一区	浜野早織	昌三
一区	斎地洋平	忠郎
一区	芳賀紀一郎	俊郎
一区	坂口和佳子	和輝
一区	吉野紀一郎	貞二
一区	手鳴志帆	笑仁
一区	野村友子	敏博
一区	中山英夫	上之
一区	平田佑	博史
二区	小倉めぐみ	博一
一区	高野宗子	明
一区	増田敬	博三
一区	谷原玲子	弘朗
一区	松宋武志	光男
三区	春見和義	清一
一区	澤山真美	清
一区	屋宮温真美	純治
一

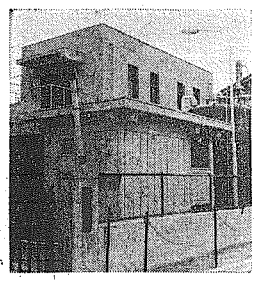
住みよい都市をめざして

地方財政の危機に打ち勝ち



下水道管の埋設始まる

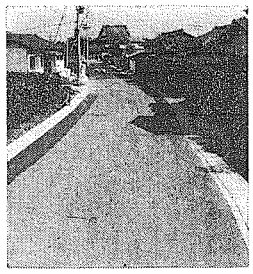
環境衛生の向上をめざして下水道の整備に着手、五十二年度では先ず八幡本津線の西内山地区に下水道管の埋設を行いました。六十五年までに、市内全域に公共下水道を整備する計画です。



科手浄水場を改良

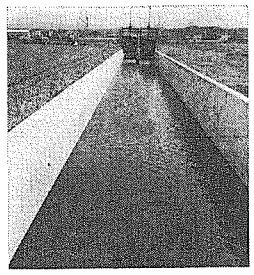
給水能力のアップと水質の向上を図るため、科手浄水場の施設の改造や運転操作の自動化を行いました。

生活環境の向上を図る



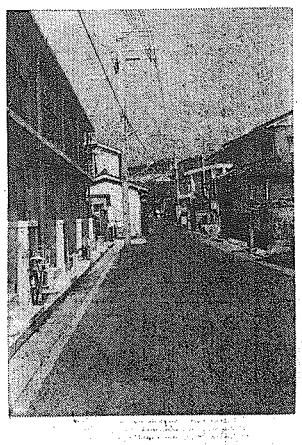
地区幹線道路を整備

今里印道線の拡幅（写真）や隅田口線の新設などを行いました。西山下奈良線の新設も継続事業として進めています。



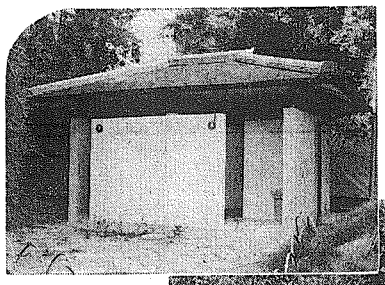
都市下水路を整備

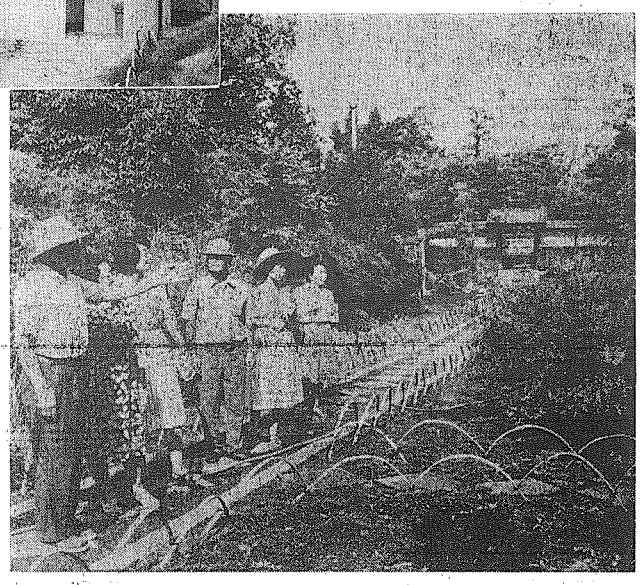
五十一年度に引き続き、久保田都市下水路の改修を進めました。今後も継続事業として、全長九百四十㍍にわたり二万コンクリートの水路を整備します。



地区改良を進める

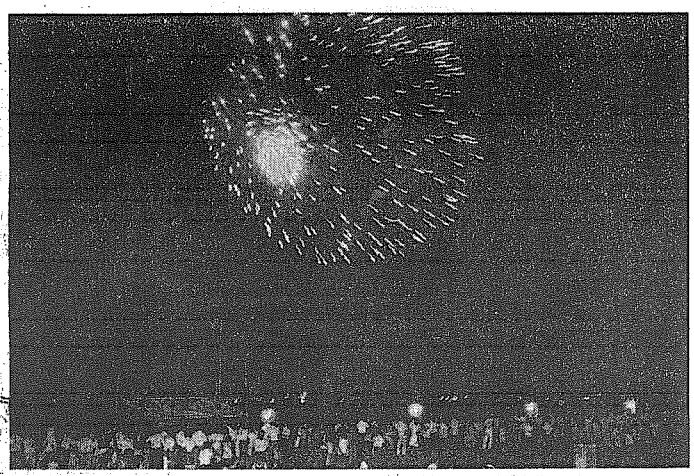
同和地区の環境改善をはかるため、ひきつづき地区改良事業を進め、密集家屋を除去し、そのあと地を緑地や道路に整備、改良住宅を建設しました。





史蹟松花堂を市民のものに

史蹟松花堂を土地開発公社で取得し、この貴重な文化遺産を市民のものとして活用することとしました。写真上は、取得後、市が新設した屋外の便所で、周囲の景観に合うように設計しています。



涼風の吹きぬける木瀬川の堤と河原で、夜空の祭典に酔いしれたひとときを

第1回 市民まつり

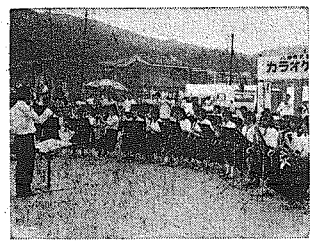
8月5日、八幡市民まつり実行委員会主催の「第1回八幡市民まつり」が開催されました。

市民相互の交流を深めるとともに、楽しい夏まつりのふんいきを味わってもらおうと、市内各種団体から実行委員を選出して、再三にわたって協議の上、計画をまとめたものです。

当日は、松花堂で実施された茶香服大会をはじめとして、市営駐車場では、八幡音頭、吹奏楽演奏、からおけのど自慢、チャリティーオークションが行われたほか、商工会青年部による夜店も催されました。

また、木瀬川国道橋上流河川敷では、八幡初の花火大会が行われ、浴衣がけで涼をもとめる家族づれなど、約2万5千人の市民でにぎわいました。

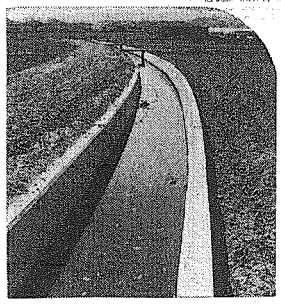
松花堂の豊かな緑を背景にして、風流な茶香服に60名の市民が参加



軽音楽の演奏により、まつりの雰囲気を盛りあげる八幡高校ブラスバンド部

市商工会と社会福祉協議会が行ったチャリティーオークションでは、15万200円の浄財が集まった

産業の基盤を整備する



農業生産の基盤である用水の確保を図るため、内里水路（写真）のほか戸津水路などを改良しました。

農業用水路を改良

49年度から継続事業で進めてきた岩田揚水機場の整備は、52年度でポンプ3基の据え付けを完了しました。今夏の干ばつにも用水は十分で、その威力を発揮しています。

揚水機場を整備

おめでとうございます

昭和53年6月～7月届出分

結婚

区	夫	妻
一区	三宅　敏雄	二区　浮井　稔
一区	宗平　政登	六区　山田　初治
一区	宗平加代美	六区　富　一幸
一区	田附　久子	二区　三浦　初男
一区	橋本　英剛	北川　惠子
一区	内浦信利	恵本惠美子
一区	渕本　秀牧	下区　関口　正幸
一区	馬渡　原子	一区　高橋　繁行
一区	和田二惠子	一区　水野　雅明
一区	砂子　聡	村中ひろみ
一区	安藤　英和	三浦　敏子
一区	西田　典一	四区　近藤　時彦
一区	蒲川　久子	一区　大西　紀夫
一区	山川　茂喜	一区　川本　秀信
一区	中村　敏幸	田中美代子
一区	戸田　利樹	一区　山田　敏一
一区	西本　義博	一区　高橋　敬子
一区	米村美千代	五区　尾崎　賢吉
一区	石橋　弘行	一区　高田　敬一
一区	石田二惠子	一区　多田　宮功
一区	山田　惠子	一区　本田　鉄一
六区	中山　和夫	一区　岡　四一
六区	笠井　常美	小畑　秀子
六区	笠井　秀代子	一区　山内　和代
下区	星野　功	一区　馬場　利恒
一区	横田　勝美	一区　岩本　敏
一区	三木田美子	四区　増田　英雄
一区	西村　昭裕	一区　山下　良一
一区	大橋　登文	宇野千惠子

出生

区	本人	届出人
内里区辻	晶美	克則
一区	小泉　麗隆	浩義
一区	内藤　静香	鶴雄
六区	小林　尚史	潤雄
一区	本下　聡士	昭一
下区	前田　渕生	士郎
六区	田中　真人	光夫
一区	上田田美子	定
六区	井上　彩織	信治
一区	井上　拓也	純
六区	豊田　隆憲	勝
内里区長村江里子		潤夫
四区	長谷川義人	孝
一区	吉田　紗絵	義昭
六区	中村　誠司	一義
三区	徳永　紳子	富士義
一区	大野登喜子	勲
六区	北村　直樹	繁明
下区	藤田　泉菜	邦夫
一区	鈴木　指朗	和男
一区	野田　昌子	寛美
一区	西山　功児	柴次
一区	影山　佑個	博
三区	川井理恵子	徳美
一区	中田　信也	信久
一区	米倉　節恵	穣
一区	金子和佳奈	紀之
一区	金子　直輝	茂彦
一区	尾野　敦子	邦夫
一区	藤田　泉菜	和男
一区	鈴木　指朗	寛美
一区	野田　昌子	柴次
三区	栗本　誠	真二
三区	山田　敏彦	良三
一区	大野　幸一	裕一
内里区今村　豊恵		清
上区	中川　鑑睿	宏文
内里区岩村　智子		勉
三区	倉村　孝生	隆雄
一区	宿田　一之	泰男
一区	田村　昌嗣	治夫
六区	橋本　晃介	治夫
一区	前川　秀義	孝二
一区	隠岐　泰洋	孝治
一区	横田代子	雅雄
内里区辻	笹盛	明伸
戸津区横井	貴宗	清隆
一区	下野　徐益	広美
一区	山口　厚子	英雄
一区	西川小百合	光雄
三区	岩村　拓也	芳治
二区	法元　伸朗	英雄
戸津区佐野　他仁		五豊
六区	水瀬おおり	吉美
		潤
一区	山岡　沙織	誉
下区	奥本　晃士	英雄
四区	藤井　大輔	順次
三区	山田　文子	一郎
六区	渕水　寛之	昭
六区	渕水　尚史	隆
六区	笹井　若菜	勝美
六区	山岡　良介	繁
四区	金城　洋介	利行
三区	中堀　奈々	武憲
四区	奥　信仁	利和
一区	本下　真太	繁和
一区	斎藤　利行	守
一区	東山　環	繁
四区	澤田　憲宏	正
一区	櫃口　雅平	繁信
一区	難波　美起	強
一区	山本　惠愛	修造
一区	武田　雅也	雅美
一区	篠原　和寛	雅美
一区	華　哲子	正
一区	中村美千代	茂男
一区	加藤　瑞江	一雄
一区	宇都宮美幸	敬三
一区	松原　和寛	雅美
一区	下西　良介	茂男
一区	進藤　武	島
一区	久保　匡司	勲人
一区	河内　智哉	秀朗
三区	福村　亮	海二
一区	櫃口　雅平	進
一区	難波　美起	慎
一区	斎藤　利行	治
一区	東山　環	秀樹
四区	澤田　憲宏	哲志
一区	櫃口　雅平	雅雄
一区	菅野　美紀	博志
一区	難波　美起	雅雄

にぎわう観光ナシ園

ご存知ですか もぎとりの味

初秋の味覚が食べ放題の川口「観光ナシ狩り（八幡市梨園組合）」が八月十七日にオープン。連日、手ともりれの家族や若者たちで賑わっています。

八幡市内のナシ園は、川口、下奈良、内里地区を中心に、約十三ヘクタールあり、七千五百の農家が栽培しています。品種は大部分が長十郎で、一部に新世々や幸水などがあり、昨年実績で約百トンの収穫がありました。このうち、ナシ狩りに一般開放されているのは川口地区の約四割です。

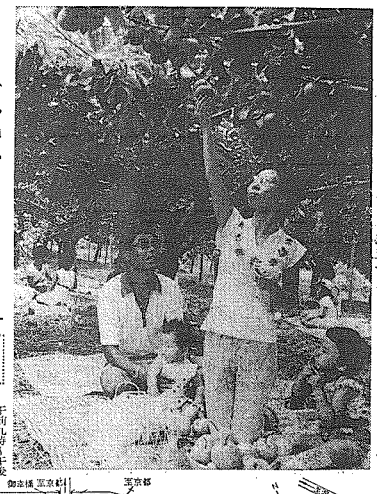
日照り続きで甘さは上々

今年の夏は、例年に比べて雨が少なく、日照りが続いたため、実ののびが悪いと言われていますが、甘みはたっぷり。一口食べると、新ナシ狩り部主（他）」が八月十七日にオープン。連日、手ともりれの家族や若者たちで賑わっています。

ナシ作りは、冬に剪定枝切り取る"せん定"に始まり、春の開花期には、摘蕾に花をつけるために"人工授粉"、さらに、週一回の薬剤散布、雨風から実を守るための袋かけなど、一年中農家の努力が続きます。この努力が今"実"を結んだのです。

ナシ狩りの期間中バスも臨時に停車

ナシ狩りは、九月三十日まで実施されます。ぜひ一度八幡特産の"ナシ"を楽しみに味わってみたいと、利用方法は次のとおりです。



家族づれで連日にぎわうナシ園。甘さはバツグン

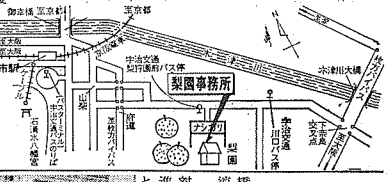
開園時間　午前九時～午後四時　休園日なし

入園料　大人一五百円　小人七百円　小学生以上の幼稚園団体一三百円（学割）に限り二十五名以上一割引

交通　寒阪電鉄八幡市駅から京阪手荷交通バス、八一三〇〇円（午後四時以後）

問い合わせ　合九八二一四五　九七四（午前九時～午後四時）

梨園事務所



"まち、づくりに積極的な意見が続出

勤め帰りに市政に参加 納涼相談に多くの意見

市では今年も、寒阪八幡市駅・樋ヶ谷駅・ケ寺駅の各駅前で、納涼市長相談を実施しました。

この納涼市長相談は、市民との対話を深め、市長参加の自治を進めることという市の基本方針にもとづき、毎年八月に行っているものです。

・近年、八幡市は人口が大幅に増加してきましたが、そのほとんどが大都市に向き、地方選挙に会場の少ないこれらの人にも、より良いまちづくりに役立つ意見や要望を出してもらおうと、昭和四十四年から納涼市長相談を実施してきました。

今年の納涼市長相談は八月八日、十日、十四日の三日間にわたって、寒阪ケ寺駅・樋ヶ谷駅・八幡市駅の三駅で、それぞれ実施しました。

今回市民のかたから出された陳情・意見・要望などは、全部で百四十六件あり、そのうち主なものは次のとおりです。

C道路の不足箇所の早期解決・道路補修などの管理の強化

C街路灯の増設

OスピードB制限などの交通規制の強化

Oアイヤ橋周辺に伴う埋蔵文化財の調査

O八幡市駅前広場整備事業の促進

C緑化運動の推進

Oスポーツのできる公園・広場の増設

市では、これらの要望を十分検討し、すぐに解決できるものについては、その場で即答、他の関係機関と協議しなければ解決がむつかしいものについては、後日文書で回答することを約束しました。

今回の相談内容については、市長参加の行政を進めるため、今後も市民の健康と安全を守るための相談活動を続けます。

農業委員改選

議会・農協から9名 全委員の選出終る

七月十九日の任期満了に伴い農業委員会委員二十八名の改選が行われましたが、先号の新聞紙でお知らせした一般選挙による委員に、検査員の推薦による委員を加えて、新委員五名と農協推せん委員四名が次のとおりきまりました。

市議会選出委員―仲田成矢・丸山文雄・関東敬雄・東本義雄・藤林正（敬称略、順不同）

農協推せん委員―寺村孝夫・小橋勝次（敬称略、順不同）

なお、八月二十八日に第一回総会委員会が開かれ、会長に植上又行氏、副会長に辻清氏・小川光三氏、府農業委員会議員に田村啓治氏がそれぞれ選出されました。

今回改選された農業委員の任期は、昭和五十六年七月十九日までです。

消防救助技術 東近畿地区指導会

市消防署員入賞

さる七月二十日、七月県七百十四名の消防職員が参加して、第二回消防救助技術東近畿地区指導会が京都市消防学校で開催されました。

この指導会は、年々増加する高層建物火災に対する救助技術の向上をめざして実施しているものです。

今年は、今年は、消防庁消防部長賞（自己負担分）を支払った場合、三万九千円を超える金額に対して、市消防局が支給される高額医療費制度を適用しました。

この高額医療費は、支払った方が、月に二万千円以上の三ヶ月間分の医療費（自己負担分）を支払った場合、三万九千円を超える金額に対して、市消防局が支給される高額医療費制度を適用しました。

なお、遺族年金に関しては、市消防局が、市役所保険年金課に申請手続をしてください。

ご協力ください

十月一日に、「昭和五十三年住宅統計調査」が全国で実施されます。今回の調査において、市内約五千百の住宅が調査対象になっています。みなさんの住宅に調査員が伺いますから、よろしくご協力を御願いします。

（市役所　市民課）

高額医療費の請求はお済みですか？

国民健康保険に加入している人が、市役所保険年金課に申請する医療費（自己負担分）を支払った場合、三万九千円を超える金額に対して、市消防局が支給される高額医療費制度を適用しました。

この高額医療費は、支払った方が、市役所保険年金課に申請する医療費の記載事項に誤りがあるなどの理由で、遅延の原因となっています。

なお、遺族年金入金の遺族の方で、参加を希望される方は、福祉課に連絡をしてください。

（市役所　福祉課）

紅葉パラダイスで戦没者遺族の慰安

遺族の方々の長年にわたる苦労をいやしていただくために、九月十日に大本市紅葉パラダイスで遺族の慰安行事を実施します。

なお、遺族年金入金の遺族の方で、参加を希望される方は、福祉課に連絡をしてください。

（市役所　福祉課）

市議会に誤報問題の調査特別委員会

市議会は、「市の基本方針に反映しやすい意見」などの要望を、市長に対して、「市の基本方針に反映しやすい意見」などの要望を、市長に対して、「市の基本方針に反映しやすい意見」などの要望を、市長に対して